# LGBTQ+についてのアンケート結果（テキスト版）

※こちらは、LGBTQ＋についてのアンケートを実施しました！のアンケート結果のテキスト版記事です。グラフ画像についての説明をテキスト化しています。

## 目次

・[セクシュアリティについての認知のアンケート結果](#_セクシュアリティについての認知)

・[LGBTQ＋関連イベント、店舗の参加経験と意向のアンケート結果](#_LGBTQ＋関連イベント、店舗の参加経験と意向)

・[参加にあたり、事前に知っておきたい情報](#_参加にあたり、事前に知っておきたい情報)

## セクシュアリティについての認知

アンケート設問は、「Qあなたは、セクシュアリティに関する以下の言葉を知っていますか？」でした。

アンケート結果のサマリーは次のとおりです。

・メディアや教育などの場面でも頻出する「LGBT」については認知度が高く、「Q＋」に該当するものについてはまだそこまで認知度が高くない。

・マジョリティ側の言葉の認知が低いのが特徴的。自分のアイデンティティーと一致しているため、意識的に情報を得ようとする機会が少ないのかもしれない。

次のそれぞれの言葉に対して、「知っている」と答えた人の割合を％で表しています。

「ゲイ」92%

「レズビアン」88%

「バイセクシュアル」81%

「トランスジェンダー」78%

「ノンバイナリー（Xジェンダー）」34%

「クエスチョニング」27%

「アセクシュアル」25%

「パンセクシュアル」22%

「アロマンティック」14%

「ヘテロセクシュアル」22%

「シスジェンダー」15%

「知っている言葉はない」5%

## LGBTQ＋関連イベント、店舗の参加経験と意向

アンケート結果のサマリーは次のとおりです。

・障害当事者の4割以上がLGBTQ＋関連のイベントや店舗に行った経験か関心がある。

・障害特性に起因して困ることとしてはコミュニケーションが圧倒的に多く、設備のバリアフリー問題よりも対人関係が心配という方が多い。

最初のアンケート設問は、「Q.あなたはこれまでに、LGBTQ＋関連のイベントやサークル、飲食店やクラブなどの店舗に行ったことがありますか？」でした。

これに対して、1025件の回答がありました。

そのうち行ったことがあると答えた人は20%、行ったことはないと答えた人は80%の割合でした。

行ったことはないと答えた人に対して、「Q.LGBTQ＋関連のイベントやサークル、飲食店やクラブなどの店舗に行ってみたいと思いますか？」という設問を設けました。

これに対して、817件の回答がありました。そのうち行ってみたいと回答した人は30%、行ってみたいと思わないと回答した人は70％でした。

これらのアンケート結果から、経験者または関心のある人は、1,025名中454名（44%）いることがわかりました。

経験者または関心のある人に対して、「Q.行ったとき、または行こうと思ったときに、自分の障害特性に起因して困ったこと、心配になること。」をきくと、323名の回答がありました。回答結果は次のとおりです。

・特になし（108名）

・定員やお客さんとのコミュニケーション（59名）

・対人恐怖やパニック発作など障害に起因した症状（36名）

・店内の騒がしさ（36名）

・照明が明るい、暗い、まぶしいなど（14名）

・車いすでの移動、入店（13名）

・大きな音、BGM（11名）

　その他、店内の広さやいす、エレベーター、トイレなどの設備、空間の問題や情報保障、飲酒や喫煙についてなど

## 参加にあたり、事前に知っておきたい情報

アンケート結果のサマリーは、次のとおりです。

・事前に知っておきたい情報を分類すると、設備について、サポートについて、次いで客層や雰囲気についての情報が求められている。

・必要なバリアフリー情報を提供して、安心して参加してもらえるようにしたい。

アンケート設問は、「Q.LGBTQ＋関連のイベントやサークル、飲食店やクラブなどの店舗へ行くときに、事前にどんな情報があると行きやすいですか？」でした。これに対し、321名の回答がありました。

回答結果は次のとおりです。

* 設備について（132名）
	+ トイレ（バリアフリートイレかどうか、手すりの有無など）
	+ 店内の広さや通路幅（車いすで入店可能か、障害物はあるか）
	+ 座席（カウンター席なのか、座席の高さや1人分のスペースなど）
	+ エレベーター、エスカレーターの有無
	+ 店内の段差の有無
	+ その他：階段・階数、明るさ、カームダウン・クールダウンルームの有無、駐車場の有無など
* スタッフのサポートや情報保障について（61名）
	+ 店員さんのサポートがあるかどうか（車いす対応、パニック発作が起こってしまったときなど）
	+ 障害理解があるかどうか
	+ 手話、筆談、点字のメニュー、そのほかコミュニケーションツールなど
* 客層や雰囲気について（53名）
	+ 混雑具合
	+ どんな人が来るのか
	+ セクシュアリティによる入店の制限や、客層など
	+ 店内の雰囲気（一人でも入りやすいか、1人参加者が多いか）
* その他
	+ 場所の詳細（アクセス）
	+ 交通手段
	+ 営業時間
	+ メニューや料金システム
	+ 障害者割引の有無など